



# 瀬谷小だより

7月号

平成30年6月29日  
横浜市立瀬谷小学校

## 根をはって、さらに大きく

副校長 西山 久美子

梅雨らしい空模様の中、アジサイの花が鮮やかな色で私たちを楽しませていました。5月に瀬谷っ子サポーターの皆様にご提供いただいた1棟裏のアジサイの苗も無事に根をはり、小さいながらも美しい花をつけ、大きく成長しようと土の中でさらに根を伸ばしているようです。梅雨の時期は、雨や蒸し暑さでうっとうしく感じる季節ではありますが、植物の成長には欠かせない恵みの雨と考え、この季節を楽しみたいと思っています。

さて、6月までに宿泊体験学習や修学旅行が終わり、子供たちは様々な体験を通して、一回り大きく成長してきました。私も4、5年生と愛川へ一緒に行き、子供たちの頑張りをたくさん見ることができました。仲間と協力すること、友達を励ますこと、真剣に取り組むこと・・・日ごろから瀬谷小で「あたり前」にできている力が、体験学習の場でも大いに発揮されていました。

瀬谷小では、学習はもちろん異学年交流などの活動を通して、周りの人とかかわる力や人への思いやり、温かい心など、これからの時代を生きるために必要な基礎力を育てることを大切にしています。体験学習で発揮された、「思いやり」「やさしさ」は、低学年の頃から「根」となる「あたり前のこと」がしっかりできるという基礎が身に付いているからこそと、子供たちの姿をうれしく感じました。何事も頑張るためには、そしてやり遂げるためには、それまでの基礎基本の積み重ねが大切になります。植物に例えれば、「根」をしっかりはり、たっぷりと養分を吸い上げることが、風雨に耐え美しい花を咲かせ実を結ぶことにつながるのです。子供のうちに、太く丈夫な「根」をはっておくことで、これから先のたくさんの出会いや学びを吸収し、困難に負けない強さ・たくましさが増えていくと考えます。瀬谷小の校歌「朝日を浴びてひらけゆく 広い野原に根をはろう」のように、「瀬谷の若葉」である子供たちには土台となる力をしっかりとつけ、校歌の結び「瀬谷の希望」へと大きく育ててほしいと願います。

来週からは7月、夏休み前のまとめの時期です。

4月からの振り返りをするとともに、一人ひとりが「根」となる力を蓄えられるよう、たくさんの栄養「ビタミン愛」を注ぎたいと思います。



学校では、災害時の避難訓練を年間通して定期的に行い、子供たちには、自分の命を守ることを常に意識できるように指導しております。ご家庭でも登下校や放課後の安全について、また災害時の連絡方法などについても話し合ってみてください。また、通学路も今一度ご確認いただき、安全な登下校へのお声かけをお願いいたします。